# 2026年3月期第2四半期(中間期)決算決算補足資料

2025年11月5日

株式会社 ロジネットジャパン





# 1. 2026年3月期中間期連結業績



- ・ **営業収益**は、大手取引先の取り扱い数量の増加影響がある一方で、東日本地区の㈱LNJ小泉における取引関係見直しによる減収、および農産物をはじめとした例年にない猛暑による取り扱い数量の減少などにより、**前年同期比1億85百万円減**(△0.5%)の383億49百万円となりました。
- ・ 利益面については、上記の減収影響に加え、輸送原価の上昇や、昨年度まで行ってきた人財投資の 取組を拡大したことによる費用増加影響により**営業利益は前年同期比1億17百万円減**(△6.2%)の 17億78百万円、**経常利益は前年同期比66百万円減**(△3.6%)の17億64百万円、**親会社株主 に帰属する中間純利益**は、政策保有株式の売却等により**前年同期比1億84百万円増**(+15.7%) の13億61百万円となりました。

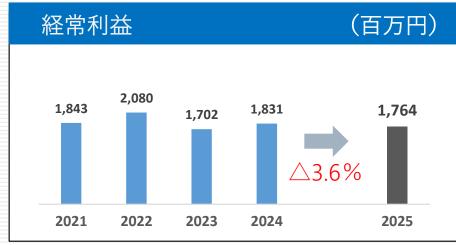
		前中間期	当中間期	増減	増減率	
		百万円	百万円	百万円	%	
	営業収益	38,534	38,349	△ 185	△ 0.5	
	営業利益	1,896	1,778	<b>△ 117</b>	△ 6.2	
	経常利益	1,831	1,764	△ 66	△ 3.6	
	親会社株主に帰属する 中間純利益	1,176	1,361	184	15.7	

#### 2. 中間期 連結業績の推移











# 3. 2026年3月期 連結業績予想



- ・ 2026年度3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月8日発表値から変更はありません。
- ・ 2025年度からスタートした「中期経営計画2025-2027」に基づきながら、当社の事業目標である「2030年度までに連結売上高1,000億円を実現する」を達成すべく、事業拡大に向けた取り組みを推進してまいります。

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	対前年(%)	百万円	対前年(%)	百万円	対前年(%)	百万円	対前年(%)
通期	79,500	2.9	3,700	0.9	3,560	2.6	2,260	0.5



ロジネットジャパングループでは中期経営計画2025 - 2027に基づき、2026年3月期の業績目標の達成に向けて、以下の4つの事業セグメントを重点的な施策と位置付けます。



中期経営計画2025-2027 営業方針

- (1) LNJEX
- (2)独自商品の拡販
- (3) 国際物流事業
- (4) EC物流事業の拡充

# (1) LNJEX

全国ネットワークと多様な輸送モードを活用し、全国エリアで 380km お客様に最適な輸送メニューを提供するサービスです。

#### **EX**pandable

全国のネットワークと 幅広い輸送モード

#### **FIEXible**

お客様のニーズに 柔軟に対応

#### **EX**press

迅速な輸送サービス





#### (2)独自商品の拡販

ロジネットジャパングループ独自の商品の拡販を通し、環境問題や物流業界の課題へ対応します。





総合物流企業としての 輸送力を活かした 全国エリアでの引越事業



単身引越者向け商品

さくらボックス

特許取得済み 特許 第7384659号





# 大阪・関西万博で クロロジ のコンセプトを体験できるVRを展示

当社は、9月1日~3日、大阪・関西万博「TEAM EXPOパビリオン」にて、「脱炭素化」をテーマに、独自輸送商品「DDロジ」のコンセプトを紹介する展示を行いました。

DDロジは、1パレット単位でお預かりした商品を最終目的地まで「直送」することで、中間物流コストや荷役の削減を実現しますが、トラックの稼働を減らすことでCO2の削減にも貢献するため、SDGsの観点からも注目を集めています。





展示では、DDロジの新しい輸送方法をVRで体験いただくとともに、独自開発した専用紙パレットに座って実際の強度を体感いただき、DDロジが実現する物流の新しい形を大勢の方々にアピールしました。

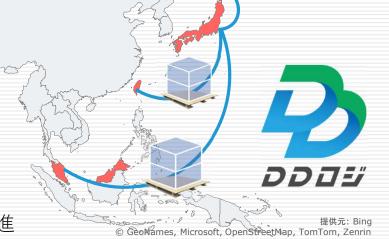
今後も、多くのお客様にご利用いただけるように、様々な形でDDロジの価値をPRしてまいります。



#### (3) 国際物流事業

国内輸送の実績を生かし、グローバル市場にも対応した物流サービスを提供するため、国際物流事業へ本格的に参入します。

- ・国内外のお客様に対してより広範なサービスを提供し、 競争力を高めるための体制整備
- ・農産物輸送の実績やノウハウを活かし、 増加が見込まれる農産物の海外輸出のニーズに対応
- ・国際物流事業においても、 当社の輸送商品 クロロジなど、 環境に配慮した持続可能な物流を実現するための取り組みを推進



#### (4) EC物流事業の拡充

これまでに培ったノウハウを活かし、今後も需要拡大が見込まれる輸送ニーズへの対応力を強化します。

- ・EC物流のニーズに応えるための基盤強化
- ・EC市場の成長・変化に対応した柔軟な物流事業の提供

#### 5. 人財投資について



「中期経営計画2025-2027」の施策の一環として、事業競争力強化に伴う優秀な人財を確保するため、また社員が安心して仕事に取り組み、能力を最大限発揮できるよう、処遇改善や社内制度を積極的に整備しています。

#### 処遇改善

人財投資を強化する方針のもと継続的に

- ◆ 大卒初任給の引き上げ
- ◆ 従業員の処遇改善

など、積極的に取り組んでまいりました。

#### 【2025年度 人財投資方針】

- ◆ 大卒初任給を35万円へ引き上げ
- ◆ 継続的なべースアップの実施

#### 社内制度の拡充

- ◆ 奨学金全額返済支援制度
- ◆ 育児・介護休業期間中の給与支給
- ◆ 借上社宅制度 (家賃の3/4を会社が負担)
- 事業所内保育施設の設置
- ◆ 育児短時間勤務 (子が小学校3年生終了まで)
- ◆ 単身赴任者帰省往復交通費支給制度 (年6回)

# 6. 企業価値向上に向けた取り組み



#### (1)配当金について

- ・ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけた上で、財務 体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当を継続すること を基本方針としております。
- ・ 2026年3月期の配当は、「中期経営計画2025-2027」に基づき、株主の皆様への利益還元を 強化する内容とし、中間配当65円00銭、期末配当70円00銭、合計135円00銭を予定しております。



#### 6. 企業価値向上に向けた取り組み



#### (2) 自己株式取得について

1株当たり株式価値の向上による株主還元の拡充と資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするために、自己株式の取得を進めております。

#### 2025年度の取得状況

- ◆ 取得した株式の種類:当社普通株式
- ◆ 取得した株式の総数:411,400株
- ◆ 株式の取得価格の総額:1,557,149,000円
- ◆ 取得日:2025年8月22日
- ◆ 取得方法:札幌証券取引所の立会外自己株式取得取引による買付け

# 6. 企業価値向上に向けた取り組み



#### (3) 株主優待制度について

3月末日の所有株式数に応じて、弊社製品の「**北海道大雪山『ゆきのみず**』」を贈呈しております。

『ゆきのみず』はモンドセレクション優秀品質最高金賞を受賞(2023年度)したほか、札幌商工会議所の認証「北のブランド2024」においても金賞評価を得ております。





#### (4) 個人投資家向けIR説明会について

個人投資家の皆さまを対象としたIR説明会を、11月26日(水)に札幌証券取引所で開催いたします。参加を希望される方は、下記の札幌証券取引所ホームページよりお申し込みください。(札幌証券取引所 お申し込みURL: <a href="https://www.sse.or.jp/archives/semientry/20251126-1">https://www.sse.or.jp/archives/semientry/20251126-1</a>)

#### 予測に関わる注意事項



本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成した ものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能 性があります。

